

KBI NEWS

〒630-0266
 奈良県生駒市門前町 22-1
 TEL: 0743-70-8600
 FAX: 0743-70-8601
 編集・発行人: 大田裕作
 郵便振替: 001140-6-67708
 銀行: 尼崎信用金庫上ヶ原支店総合口座 056-0015453
 Eメールアドレス: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ: <http://www.kbiwave.com>



「原野開墾型」をめざして

学院長 大田 裕作



いつも夢見ています。愛する同胞が波打つように福音に引き寄せられる日。教会が人々で満ち溢れ、次々と枝教会や教会開拓がなされ、この国から世界中に福音の使者が遣わされていく日を。そしていつも考えています。私たちが感動して受け入れた福音が、なぜ多くの同胞に届かないのだろうか、どこに突破口があるのかと。救われて献身し、諸先生方に育てていただきました。そして今は足りなさを自覚しながらも、次の世代と日々向き合いながら共に学んできます。KBIに受け継がれてきた「キリストにある」をキーワードにその恵みに生かされ、新しくされ、宣教へと押し出されていくプロセスを毎年模索しています。

KBIのDNAは不変ですが、その上に建て上げを模索しています。そのは、教会形成のできる伝道者育成です。日本の教職者の神学教育レベルは、世界標準から見れば決して低くはなく、実は最も充実したグループに入ります。その一方で見渡す世界には十分な学びをする機会もなく奉仕している牧師が少なくありません。途上国の多くでは、様々な事情で神学校に行くゆとりのないまま奉仕に入っていく牧師が多いわけです。しかし皮肉なことに日本では十分な宣教成果をあげられず、途上国では今、勢いよく宣教が前進しています。なぜでしょうか。多くの要因があるでしょうが、聖書学院で奉仕しています私の立場から感じる責任は、西洋神学の未批判な受容という事です。換言すれば、神学の消化不良です。文脈化が不十分なのです。受け売りの域を出ていないのです。

この国に移植された神学教育は、千年以上も続く西欧キリスト教社会が求める「牧会型」の奉仕者養成プログラムでした。そこでは既存教会の牧会、いかに充実した説教で会衆を養うかが第一要件でした。教会増殖や未伝地開拓は、選択肢でしかありませんでした。そのように日本に紹介された標準的な神学は「守備型」でした。しかしこの国の霊的現実には、鋤を振るえば石にはじき返される未墾の原野です。この地で必要とするのは「原野開墾型」の神学であり、たくましい「開拓者型の働き人」です。この国で最も重要視されるべき分野は、救霊と弟子の育成、教会開拓と増殖です。この国全体、特に地方都市や農漁村の実情を踏まえて、確実に同胞に福音を届けていく神学を真剣に模索・構築することが必要です。

蒔かれる種と畑地（気候風土）の関係は決定的なものです。今日まで信仰の先達がひたすら翻訳と紹介を続けてくださり、その結果、堅実な福音的信仰がこの国に根を下ろしました。大いに感謝すべきです。そしてこれからの課題は、日本という宣教の畑を研究し、その土壌に適した品種を育てていく時代です。かつて熱帯の植生であった稲を、寒冷地でも育ち、また台風によられない早生の品種を、最高の味に仕上げた創意工夫が、この神学の世界でも求められています。愛する同胞の救いのために、すべての教会と手を取り合って前進したいものです。



「入学の証」 1年 山下 裕平



私は、2001年に妻との出会いがきっかけで洗礼を受け、2003年のJECユースキャンプで妻と共に献身者として働くように神様から語られました。その時、牧師として働くことが私に与えられた道であることを知りました。その後、何度も献身の時期を祈り求めてきましたが、充実した生活を手放したくないという肉の思いが先行し、決意できないまま11年が過ぎました。2014年の夏、私は会社から経営者側の立場に昇格する研修を受けるように薦められました。「これからは会社に命を奉げて欲しい」と上司に言われた瞬間、「会社に命を奉げるくらいなら、神様に命を奉げたい」という思いが心の底から込み上げてきました。私は周りの人に相談しながら祈る中で、今が献身の時であることを確信し、これまでにない平安を得ることができました。これまで私は社会人クリスチャンとして、沢山の経験させていただきました。しかし、KBIではそれらを含めた全てを神様にもう一度打ち砕いていただき、神様が豊かに用いてくださる器に変えられるように祈りながら、神様に人に謙遜に学んでいきたいと願っています。

1年 小崎 恵

私は幼いころから日本で福音を宣べ伝える伝道者になりたいと願っていました。しかし、中学、高校、大学時代にアメリカや台湾、韓国に留学する機会が与えられ、自分を中心とした計画をたてるようになりました。将来どの国へ行くのか、どんな宣教を目指そうか等、悩んでいました。ところが、大学卒業を目前にして、どこへ行くべきか祈っていた際、神様から次のようにささやかれました。「あなたは海外へ行くのか？日本へ行くのか？それとも私に従ってくるのか？」私はそれまで神様の喜ばれる道を進んでいるつもりでしたが、いつの間にか自分の計画に沿って、都合のよい道を選ぼうとしていくことに気づかされました。そして、すべてを神様に明け渡したとき、日本の関西聖書学院で勉強するという道が開かれました。関西聖書学院で同じ志をもつ先輩方や仲間とともに、霊的、神学的、人格的に整えられ、神様に用いていただける伝道者になっていきたいと願っています。



「3週間コースの証」

1年 濱田 加奈子



KBIで過ごした3週間を振り返り、改めて濃い時間を過ごせたと感じています。この学校に在籍している方が、全員クリスチャンであることは、今までの私の社会人生活を考えると信じられない環境でした。イエス様に従っていきたいという、共通の願いを持った仲間を与えられた事が祝福です。その仲間と共に毎日賛美し、祈り、礼拝できることが感謝です。入学前は心配ばかりしていた共同生活も、嘘の様に毎日があつという間に過ぎていきます。忙しい



毎日に追われ家族の事を忘れがちでしたが、近藤先生の授業「親との関係をみつめて」を通して、改めて家族を見つめ直すことができました。授業の中で、自分の心の奥底を探る作業は苦しかったです。両親の年表を作っている時には、様々な思い出が蘇り、涙が止まりませんでした。家族の歴史を振り返ると、我が家が困難の中にあつた時も、イエス様が共にいて下さった事に気づかされました。私にとって、家族も、KBIの仲間も、神様に与えて頂いた贈り物です。これからの学びに期待し、私自身もつとつと成長したいです。

3週間コース 坂本 久美
 この3週間コースに参加させて頂き、お祈りをもって準備して下さり、私たちに仕えてくださった、大田先生御夫妻をはじめ、スタッフの皆様に心から感謝しています。朝5時に起きる規則正しい生活、毎朝の礼拝、そして、栄養バランスのとれた美味しい食事を通して、疲れやすかった体が回復し、強められました。女子寮の細やかなルールには、最初少し戸惑いました。しかし、生活していく中で、共に施設を大切に使うためのルールだと良く分かりました。私は共同生活をする上で、ルールの重要性を学ばせて頂きました。講義の中で印象深かった事は、私たちがイエス様の中に留まる時に、実を結んでいくこと、休む所から全てが始まること、そして、どんな立場にいる人にも、イエス様がまだまだ成長させたい「のびしろ」があるという内容です。日々の生活の中で、いつもイエス様に留まることは具体的にどうすることだろうか、と考えさせられました。訓練を通して、私の「のびしろ」の部分も成長させようとして下さっているのだと思うと、一生をかけてこのような者に忍耐し、向き合ってくださる神様に本当に感謝です。また、最後の授業の中で大田先生が語られた「私にもっと早く福音を伝えて欲しかった」という言葉は、私の心に深く響き、そのように叫んでいる人達がたくさん待っていることを、神様が教えて下さったように感じました。神様に仕えたいと願い献身されている兄弟姉妹との生活や交わりを通して、尊敬の念を持たせて頂き、又励ましを受けました。この3週間を通して受けたプレゼントを神さまに心から感謝しています。



妹との生活や交わりを通して、尊敬の念を持たせて頂き、又励ましを受けました。この3週間を通して受けたプレゼントを神さまに心から感謝しています。

「特講の証」

3年 石坂 潤

私が、高澤先生の特別講義「福音に生かされ、宣教に生きる」の中で、最も印象深く残った内容は、聖書が示している私たちの成長のサイクルです。ヨハネ15章にある農夫の例えから、「主にとどまる↓成長する↓実を結ぶ↓刈り込まれる↓とどまる・・」というサイクルが、私たちにはあると教えられました。それぞれのシーズンを繰り返しながら、私たちは主にあつて成長を続ける存在です。私たちは年齢や今の成熟度によらず、生涯成長していきます。



そして、主ご自身が私たちを通して、主の働きを完成して下さるということは、大きな励ましです。宣教に生きるとは、私たちがあつた点に到達したからできるものではありません。たとえ成長の途上であつたとしても、宣教は「今」からです。その中で、私たちは実を結び、更に刈り込まれ、主に変えられ続けていくのです。この内容を受けて、私自身が主にとどまることよりも、実を結ぶための働きが上げられることに、関心を置いていたと気付かされました。そして、私たちが刈り込まれる目的は、より深く主に依り頼み、主に留まるためのものです。宣教というライフスタイルを心としながら、幹なるイエス様に留まり続けることこそが、福音に生かされることだと学びました。

2年 金子 智恵

高澤健師の特別講義を受講して、特に教えられたことは、弟子の共同体としてどうあるべきかということである。主は、弟子の共同体の一部として私たちを召し出し、また、そこに次の弟子を加えてくださる。新約聖書に記されている300ほどの命令のうち、祈りと施し以外は「互いに」する事であり、ひとりではできない事であると教えられた。人が最初に神のかたちを創られた時、神と人、人と人の間には調和があった。イエスの弟子の共同体である教会には、その調和が現されるべきである。自分自身、イエスの弟子となり、また、人をイエスの弟子とする召しは、まさに福音に生かされ、宣教に生きることだと思われた。そして、教会の成長、増殖を妨げているのは何か、ということも考えさせられた。福音の種は実をならせるよう、プログラムされているのである。蒔かれた地である私たちに問題があるのだ。結実のリズムとして、「留まり、成長し、実を結ぶこと」、また「実を結び、刈り込まれ、留まる」ことを学び、「主に留まること」が結実の条件であることを教えられた。枯渇してから主の元に帰るのではなく、主との豊かな交わりから宣教に出て行く。主の「完了した」とおっしゃったその十字架のみわざに安息して、そこから出て行く者でありたい。



● 2015年度 入学生 ●

3週間バイブルコース

- 小島 正樹 (聖霊の泉教会)
- 永木 俊統
- (リバー・オブ・ブレッツィング・チャーチ)
- 廣瀬 開 (町田純福音教会)
- 岩上 恵 (高砂教会)
- 奥野 弥須子 (堺福音教会)
- 川崎 美穂 (ゴスペルライフ)
- 坂本 久美 (南大阪福音教会)
- 中阪 恵美 (堺シオン福音教会)

本科コース

- 紙野 雄平 (北浜インターナショナルバイブルチャーチ)
- 斎藤 友良 (ニュータウン・カルバリーフェローシップ)
- 山下 裕平 (堺シオン福音教会)
- 小崎 恵 (関西カルバリーフェローシップ)
- 濱田 加奈子 (BeOne)
- 河村 シオン (南大阪福音教会)
- 黄川田 真澄 (大阪グレイスキリスト教会)
- 大塚 愛実 (明石キリスト教会)
- 大塚 マリ (ロサンゼルス合同教会)
- 久保 智佳子 (グレイス神戸ミッションチャーチ)
- 佐々木 望 (グレイスバイブルチャーチ札幌)
- 長野 有花子 (西宮福音教会)
- 福澤 賛美 (宇都宮福音キリスト教会)
- 三栖 絵里香 (ライトハウスキリスト教会)
- 吉田 ゆり (沖縄ザ・クロスチャーチ)
- CPC新受講生**
- ファン ジンリ (バンキョーゴスペルセンター)
- 山田 幸代 (バンキョーゴスペルセンター)

授業探訪



「組織神学」から知恵を得る 本来の神学へ

仙台バプテスト神学校 校長

森谷 正志

この度、KBIの神学生の皆さんと共に「神学する」機会を与えられ感謝しております。10年ほど前、私どもの神学校はこれまでの伝統的な神学教育・指導者育成からのパラダイム転換を決意しました。パラダイム転換についてはハンス・キュンゲやデイヴィッド・ボッシュが聖書時代から近代までのパラダイムを分析し、ポストモダンにおける新たなパラダイムの変革を提言しています。注目点は地域教会の再発見とその重要性です。そして初代教会に戻りす

べての手法を新約聖書から再考しようとする聖書神学者たちの存在です。

今回、担当させていただいたのは「組織神学」ですが、しかし組織神学はシユラエルマツハーの四部門の一つ、人の範疇に基づくもので聖書自体のものではありません。本来の神学は日々聖書から神についてより深く学ぶこと、すなわち、いかに魂を正しく導くかという知恵を得るはずの神学であり、また、性別職業年齢に関係なくすべての信者が聖書的に考える能力を高めるための生涯にわたる取り組みでした。

神の救いのご計画では、福音によって救われたキリスト者がまず習得すべき聖書の基本原則、福音（ケリユグマ）と教え（デイダケー）があると記されています。このキリストの原則を習得してこそ、神の再創造の目的「良いわざ」を実現し、「キリストの満ち満ちた身たけにまで達する」成熟への方向性が確立されるのです。

その生き方は、教会内はもちろんのこと、「未信者の中でも評判の良い」、普遍的な真理です。そのようにして奥義としての神の家族、教会共同体が建て上げられ、託された主の宣教大命令を実現します。しかも、

日本の文化に対立する福音から文化を完成する福音理解へ、神の再創造としての「良いわざ」を確立することです。まさに初代教会は上に立つ権威のために祈り、とりなし、助けを必要としている人々に手を差し伸べ「良いわざ」を実践しました。結果として信頼に足る、地域貢献に資する神の家族教会共同体が建て上げられました。福音に基づく「良いわざ」のうち福音宣教の門が開かれているのです。このようにキリスト者としてのライフワークを確立する「ハビタス」の神学を習得してこそ、学問としての「組織神学」も有益なものとなります。

「組織神学を受講して」

3年 鶴岡 大

非常に斬新な講義でした。その最大の特徴は「自分で考えること」にあったと思います。一方的に教える、受けるのではなく、自分で考える、自分の言葉で表現することを求められるものでした。私は先生からの問いかけに対して最初は途惑いしました。普段使っていたクリスチャン用語や概念について、それはどういう意味なのか、具体的にどういうことなのか、それまで深く考えたことが無かったことに気付かされました。近年、パラダイム転換という言葉

よく耳にしますが、講義が進むうちに「そもそも自分の持っているパラダイムが何なのかを理解せずに、転換することはできないのではないか」と思うようになりました。最もインパクトを受けたのは、初代教会における主の晩餐が現在における聖餐式という形に変わっていった過程を学んだことでした。パンを裂き杯を回すということについて、すでに出来上がっている聖餐式というパラダイムでしか考えたことが無かったと気付かされました。主の晩餐にあった豊かな交わりを通じての自然な福音の広がり、現代においてどう再現してゆくか。それこそ自分で考え、自分の表現で実践して行きたいと思えます。



移転 10 周年記念集会案内

11月3日 (祝・火)

●11:00～ 記念祝会

ゲスト：才門正男兄、ラッセ・ハイモネン師

●12:30～ レセプション

●14:00～17:00

賛美と祈りのセレブレーション

コーディネーター：林田 裕樹師、村林かなえ師



＝是非今から予定に入れてお集まりください＝

● 教師会報告 ●

ここ数年は年2回の教師会(5月と翌年1月頃)が持たれていきます。去る5月12日(火)の教師会は新入生、在校生の状況把握から始まり、年間行事予定を踏まえたうえで、カリキュラムの確認、整合性を考え合いました。今回は新教師として加わられた文ジョンホ師(神学思想史)、また組織神学の特講のために山形から来られた森谷正志師(仙台バプテスト神学校校長)を歓迎しました。続けて3年生兄妹から提出された論文のテーマに従って、担当の指導教師を相互に選任していきました。新しい年度に向けて、教師の側も新鮮な緊張と喜びを覚えながらの時でした。

さらに今回は、数年前から授業を担当くださっているG・フォーセット先生が、授業紹介をしてくださいました。「弟子づくり、群れの形成」についての斬新な取り組みが紹介され、その後、質疑応答の時間も持ちました。

そして、教師会の主催行事である秋の実践神学シンポジウムについて話し合い、今年は開催を見送り、10月26-27日の教会増殖ビジョンフェスタ、11月3日の移転10周年の集いに勢力を集中することを決議し、最後にKBIの超教派性についての意識の再確認がなされ、充実した3時間余りの会を閉じました。

● 奉仕教会 ●

1年生

紙野 雄平(敦賀自由キリスト教会)
黄川田 真澄

(ゴスペルチャーチ千里・Be-One)

斎藤 友良(エレベートチャーチ)

大塚 マリ(香芝ゴスペルチャーチ)

佐々木 望(雲井キリスト福音教会)

福澤 賛美(ホテル清水教会)

吉田 ゆり(香芝ゴスペルチャーチ)

2年生

上野 哲志(ヒルズチャーチ)

川端 愛

(北浜インターナショナルバイブルチャーチ)

久保 献一

(名古屋グレイスキリスト教会)

鈴木 孝紀(園田チャペル)

長尾 悟(シャローム希望教会)

金子 智恵

(西宮福音教会・さんだグレイスチャペル)

3年生

石坂 潤

(岬福音教会・ゴスペルハウス静岡)

庄司 好男(明石福音教会)

鶴岡 大(瀬戸サレム教会)

本間 崇敬(堺福音教会)

山本 峻(松原聖書教会)

熊澤 百合愛(狭山福音教会)

ご献金感謝します

献金者名簿(日付順・敬称略) (2015.1.29 ~ 2015.5.25) (KBIへの直接献金分)

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人: 安野清子、石崎政登、増永弘、井野葉由美、陳加寿子、エルマリ・アンバッケン、秋元清友、福元玲子、田中憲昭、吉田隆、岩本美保、大田裕作、安黒務、伊達山洋子、黄金井尚美、門谷暁一、斎藤邦夫、大塚泰文、兼松道子、藤木頼子、豊村善典、南沢順子、川端黎子、前川美恵子、奥田昭、山本篤、熊本直美、橋本昭夫、佐伯春美、前田秀文・庸子、高橋めぐみ、吉岡家子、小山大三、在原繁・津紀子、北野恒久

教会 & 団体: 京都シオンの丘キリスト教会、八尾南福音教会、久留米ベテルキリスト教会、高砂教会、奈良福音教会、千代田福音教会、生駒福音キリスト教会、東京チャペル、峰町キリスト教会、ビクトリーチャーチ(台湾)、尾上聖愛教会、チャペル犬山、箕面福音教会、旭川神愛キリスト教会、ゴスペルチャーチ千里、城陽キリスト栄光教会、善通寺バプテスト教会、三国クリスチャンチャペル、ゆうあい・ちゃぺる、大阪キリスト栄光教会、堺福音教会、狭山福音教会、北九州チャペル、カナン・プレイズ・チャーチ、札幌キリスト福音館

<運営支援献金>

1. 支援団体献金

鶴見純福音教会、保土ヶ谷純福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、美濃グレースチャーチ、岐阜純福音大森チャーチ、フィラデルフィヤチャーチ(シアトル)、伊勢原聖書キリスト教会、亀岡ベタニヤ教会、ジャパン・ベサニー・ミッション、フィラデルフィヤグループ合同集会、KBI支援協力会(FCMF諸教会)、小松ベタニヤ福音教会、インターアクトアジア

2. 特別献金

個人: 坂下キク子、松下勝彦、在原繁・津紀子

教会 & 団体: 可児福音教会、北広島自由キリスト教会、日本福音主義神学会

■奨学基金献金

個人: 堀井大真・佐和子、出原市子、竹川正英、大草美貞、芝蓮代、金森徹・和子、藤原聖子、轟節雄、小森美穂、後山慎治、在原繁・津紀子

教会 & 団体: 生駒福音キリスト教会、北広島自由キリスト教会

■建設基金献金

個人: 春名裕、大草美貞、藤原聖子、熊本直美

教会 & 団体: 伊勢崎神愛キリスト教会、生駒福音キリスト教会、犬山キリスト純福音教会、岐阜純福音教会、秦野クリスチャンセンター、南大阪福音教会

● 2014年度 会計報告

①一般会計	(収入)	KBIを支える会献金	3,913,843	(支出)	維持管理費	9,597,854
		支援団体献金	16,202,132		経営費	11,589,901
		特別献金	2,732,146		人件費	17,726,821
		学生経費他	22,537,266		建設会計への繰入	8,000,000
		前年度繰越金	8,383,700		退職金引当金	1,000,000
	収入合計	53,769,087		舎監サポート基金	3,000,000	
				次年度繰越金	2,854,511	
				支出合計	53,769,087	
②建設会計	(収入)	特別献金	360,259	(支出)	各種対策工事費	5,444,035
		資産管理収入	4,183,352		施設利用維持管理費	597,654
		一般会計からの繰入金	8,000,000		教職舎リフォーム費	13,000,000
		舎監サポート費取崩	3,000,000		次年度繰越金	709,483
		舎監サポート費 (2013年度分)	3,000,000		支出合計	19,751,172
		前年度繰越金	1,207,561			
		収入合計	19,751,172			
③奨学基金	(収入)	奨学基金献金	1,173,000	(支出)	奨学金支給	1,750,010
		前年度繰越金	1,886,203		次年度繰越金	1,309,193
		収入合計	3,059,203		支出合計	3,059,203

●OB・OG通信●

《ご結婚おめでとうございます!》

5月16日 谷口 卓嗣師(堺シオン福音教会)と白鞘 慧美姉(ジーザスライフハウス東京)

5月23日 山中 実兄(八尾福音教会)と菅原 早紀子姉(北広島チャペルキリスト教会)

《伝道師に着任おめでとうございます!》
6月1日 西小野 健師、聖子夫人 郡山聖書バプテスト教会 伝道師着任

《宣教師派遣》
○藤江 皆栄宣教師
6月23日 インドネシアへ第二期出発します。

○高橋 めぐみ宣教師
9月1日 インドネシアへ第三期出発します。

《お祈りお願いします》
○在原 繁宣教師・津紀子宣教師
9月2日までのデピユテーションの祝福のため。津紀子宣教師、網膜剥離の術後回復のため。

○佐山 智恵美宣教師
インドへのビザ取得のため、模索中です。

○新門 広美宣教師
タイ宣教のための派遣体制を整えられますように。

感謝

窪寺俊之師より約3000冊の蔵書を寄贈して頂きました。感謝致します。

行事予定

9月1日(火) 2学期始業

9月29日(火) ~ 10月2日(金) 前期テスト

10月6日(火) 後期スタート

10月26日(月) ~ 27日(火) 教会増殖ビジョンフェスタ

10月27日(火) ~ 28日(水) CPC

11月3日(火・祝)

11月7日(土) ~ 8日(日) 移転10周年記念集会

KBIを覚える日

(一週間前倒しとなりました)

12月4日(金) 2学期終了

1月12日(火) 3学期始業

3月10日(木) 卒業派遣式

編集後記

ハレルヤ!新しい年度が始まりました!編集にも新しいメンバーが加わりました。KBIニュースもカラーになり、サイズも大きくなりました。ご意見・ご感想お待ちしております。今年度も、どうぞよろしくお願ひします。

(KBI NEWS 委員 久保、金子、小崎、斎藤)